

一般質問

一般質問 児玉悦朗議員（鹿真会・公明）

問

湯瀬ふれあいセンターの今後の利活用計画等について変更があったのか。



答

機械設備の老朽化などから高齢者福祉施設としての機能は廃止とする予定に変更はない。施設の存続については総合的に判断していく。

十和田図書館建築工事について

問

問

1度目の入札が不調となつた理由について。また、2度目の入札における変更点と入札結果はどのようになものか。

答

問

工事の発注方式と工事費等に変更はあったか。また、これまでに変更した例はあるか。

答

調査の内容は、入札額が予定価格に達しなかつたことにより、不落となり入札を取り止めた。2度目の入札での条件変更内容としては、完工工期を令和7年1月10日から令和7年2月12日に延長するとともに、設計の一部について単価の見直しを行つた。また、入札結果については、9月5日付けで本契約締結、入札参加者数は1名である。

答

入札について、工事費等に変更はあったか。また、これまでに変更した例はあるか。

答

予定していたが、総合的に判断し、分離発注方式で実施した。

過去に発注方法を変更した事例は今回を含めて3件ある。

児玉 悅朗 議員（鹿真会・公明）

質問時間 45分

質問した項目

- 十和田図書館建築工事について
- 医療体制の強化について
- 湯瀬ふれあいセンターの用途廃止について



録画配信はこちらから

兎澤 祐一 議員（鹿真会・公明）

質問時間 60分

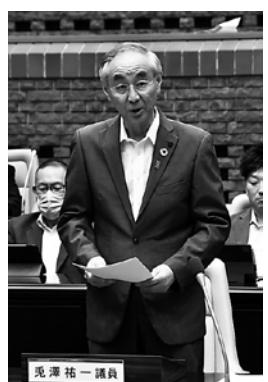
質問した項目

- 熱中症対策の推進について
- 災害時における「罹災証明書」発行の迅速化について
- 自治会等のデジタル化について
- 視覚障がい者の情報取得について
- 鹿角市の「奨学金返還支援制度」の推進について
- 道の駅の防災拠点としての強化と地道創生の推進力としての活用について

問

答

若者のJターンや移住促進のため、市や企業からの奨学金返還支援制度を推進すべきでは。支援制度は広報等で周知を図つているが、若者や移住希望者が集まる機会での周知やSNSなどで積極的に制度を推進していく。



企業などと連携して認定作業などを実施する考えはないか。

答

問

熱中症予防の注意喚起に防災ラジオを活用できないか。

答

防災ラジオによる緊急放送は、災害発生時の緊急対応を目撃しているため、熱

中症警戒アラート発表時ににおける注意喚起や暑さ指数の啓発は、メール配信サービスと併用してコミュニティFMによるラジオ放送の活用を進める。

昨年8月の大雨災害では、調査業務の応援は要請していないが、今後、より大規模な災害が発生した場合などには、協定に基づく応援要請も活用しながら罹災証明書の発行を迅速に進める。

災害時における「罹災証明書」発行の迅速化について

問

罹災証明書の早期発行のため、民間

一般質問 兎澤祐一議員（鹿真会・公明）

問

若者のJターンや移住促進のため、市や企業からの奨学金返還支援制度を推進すべきでは。支援制度は広報等で周知を図つているが、若者や移住希望者が集まる機会での周知やSNSなどで積極的に制度を推進していく。



録画配信はこちらから